

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

令和4年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩小学校

教科	図画工作	学年	第4学年
----	------	----	------

題材名	題材の内容	学習のめあて			観点別評価規準		
絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	身近なものを使って絵の具遊びをたのしむ。		知	身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。		知	身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。
			思	絵の具の新しい使い方を見つけよう。		思	身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。
		☆	学	思いがけない形や色をたのしもう。	☆	主	いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしたりしている。
つけて、のばして、生まれる形	粘土をつけたりのばしたりして、気に入った立体に表す。	☆	知	いろいろな形の表し方を工夫しよう。	☆	知	粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっている。
			思	粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。		思	握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。
			学	粘土の感触を味わいながら、つくることをたのしもう。		主	粘土をつけたりのばしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいか考えている。
木々を見つめて	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。		知	色づくりや筆使いを工夫しよう。		知	身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。
		☆	思	木を見たり触ったりして、表したいことを考えよう。	☆	思	絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。
			学	木を描くことをたのしもう。		主	身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて			観点別評価規準		
つないで組んで、すてきな形	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	☆	知	紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫しよう。	☆	知	紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかってい
							紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。
			思	使ったり飾ったりするものを考えよう。		思	自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。
			学	作品を使ったり飾ったりしてたのしもう。		主	紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾るものをつくることに主体的に取り組もうとしている。
つながれ、広がれ！ だんボール	段ボール箱を切り分けて、つないだり組み合わせたりして活動する。		知	段ボールの切り方やつなぎ方を工夫しよう。		知	段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかってい
		☆	思	段ボールでどんなことができるか考えよう。	☆	思	段ボールの形や色などの感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を変えていく活動を工夫してつくっている。
			学	友達と力を合わせて活動しよう。		主	自分の思いを追求したり友達と協力したりしながら、主体的に活動しようとしている。
かみわざ！ 小物入れ	色厚紙で箱をつくり、それらを組み合わせて入れ物をつくる。	☆	知	箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。	☆	知	色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかってい
			思	使ってたのしい小物入れを考えよう。		思	はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。
			学	小物入れをたのしくつくろう。		主	自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにつくるかを考えている。
わくわくネイチャーランド	自然の場所を生かしてたのしい遊び場をつくる活動をする。		知	場所に合った活動を工夫しよう。		知	活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色、場所の感じがわかってい
		☆	思	自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。	☆	思	見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然材料の形や色などの感じを生かして活動を工夫してつくっている。
			学	友達と協力してたのしく活動しよう。		主	自然の場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、活動を思いついたり、変化させたりしながらどのように活動するかを考えている。
							身近な場所や自然材料に関心をもち、自分の思いを追求したり、友達と協力したりして、たのしく活動しようとしている。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて			観点別評価規準		
へんてこ山の物語	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。		知	描く材料を選んだり、形や色などを工夫したりしよう。		知	「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。
							描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を表している。
		☆	思	へんてこ山の形から、お話を考えよう。	☆	思	「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えている。
			学	へんてこ山を描くことをたのしもう。		主	「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。
本から飛び出した物語	本のお気に入りの場면을段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。		知	形や色を組み合わせ、つくり方を工夫しよう。		知	お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。
							表したい場面に合わせて、形や色、身近な材料の使い方やつくり方などを工夫している。
			思	物語の場面が伝わるように考えよう。		思	物語を読んだり聴いたりして、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や、登場人物の気持ちなどイメージしたことから、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいかについて考えている。
		☆	学	お気に入りの場面を伝え合うことをたのしもう。	☆	主	お気に入りの場面を表し、伝え合うことをたのしもうとしている。
飛び出すハッピーカード	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくる。		知	飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。		知	飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。
			思	贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。		思	飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。
		☆	学	カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	☆	主	贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。
何にかこうかな (形と色でショートチャレンジ)	画用紙以外のいろいろなものに描く。	☆	知	材料に合った描き方を工夫しよう。	☆	知	つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。
							画用紙以外のものに描くことを通して、材料の特徴や感じがわかっている。
			思	材料の特徴から描きたいことを考えよう。		思	材料に合った描画材料を使い、表したいことの描き方を工夫している。
			学	画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもう。		主	材料の特徴をもとに、自分のイメージを広げて表したいことを見つけ、どのように描くか考えている。
							画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもうとしている。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて			観点別評価規準		
つくって、つかって、たのしんで	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ったのしいものをつくる。	☆	知	板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。	☆	知	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりにして、形や色やその組み合わせの感じがわかっている。
							のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。
			思	使ったのしいものを考えよう。		思	板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ったのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見通しをもって考えている。
			学	作品をつくったのしもう。		主	つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。
ほって表す不思議な花	不思議な花を版木に彫刻刀で彫って木版画に表す。 ※彫刻刀の使い方に慣れる。	☆	知	彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫しよう。	☆	知	彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。
			思	表したい花を考えよう。		思	彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。
			学	彫って刷ることをたのしもう。		主	彫りのできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。
トントンつないで	角材と薄い板を釘でつなぎ、動くものをつくる。 ※きりの使い方、金づちと釘の使い方に慣れる。	☆	知	つなぎ方や動き方を工夫しよう。	☆	知	角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっている。
			思	動く仕組みから、つくりたいものを考えよう。		思	のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。
			学	切ったり、つないだりすることをたのしもう。		主	角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにつくるか考えている。
学校もりあげマスコット	学校生活をたのしませたり手伝ってくれたりするマスコットを描く。		知	マスコットの形や色を工夫しよう。		知	角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。
							マスコットを描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。
			思	場所や物から、マスコットを考えよう。		思	表したいマスコットに合わせた形や色の工夫をしている。
		☆	学	マスコットをつくって飾ったのしもう。	☆	主	学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。
							学校もりあげマスコットをつくり、学校内に飾ることをたのしもうとしている。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて			観点別評価規準		
絵から聞こえる音	絵から感じた音を形や色で表し、互いの感じ方の違いを味わったりたのしんだりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」		知	感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫しよう。		知	自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかってい
			思	感じた音から、形や色で表すことを考えよう。		思	感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫している。
		☆	学	互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。	☆	主	自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。 互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのしんだりしようとしている。